

2020年 第2号 ご挨拶

新型コロナウイルスが企業と人々に与えた影響は、極めて大きなものです。多くの人が春節前から現在に至るまでの間に、国境を越えたモノと人往来量の多さを改めて認識し、中国への依存度の高さを身に染みて実感し、そして人の移動に制限をかけられることによる不自由さを体感したと思います。また、各種媒体やチャンネルを通じて情報は大量に提供される中で、対面で会わないにしても社内ネットワークや各種テクノロジーを活用した交流は継続・増加され、リモート勤務によりある程度の事業活動が維持されています。中国は、このような重大事象が発生するたびに、そこから学んだものを次の成長に活かしていくことを繰り返してきているので、今回も現状が沈静化した後には、国力と人々の意識と行動がさらに向上するのではないかと思います。経済活動は人の活動ですから、14億人の中国経済は、時間がたてば、それなりに大きな規模で戻ってくることは確かです。ただしウイルスだけでなく、人の行動も変化するでしょうから、その新型人間行動に合わせた事業展開を目指さなければならないかもしれません。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

1. 新型コロナウイルスの中国マクロ経済への影響

2019年末以降、中国では2019新型コロナウイルスによる肺炎感染症が猛威を振っています。2003年に流行した「SARS」の感染状況との比較では、「SARS」が当時の中国マクロ経済に与えた影響は限定的であり、2003年の年間GDP成長率は2002年を上回っています。しかし現在の中国経済が直面している状況は2003年と大きく異なります。中国全体の経済成長率は低下しており、内外からの圧力が高まっています。現在の経済構造において、消費財業界、サービス業界が占める割合は高く、新型コロナウイルス感染による影響を最も受けることになったため、回復に必要な期間も長くなります。また、今回の感染症問題の発生時期及び伝染経路を考慮すると、「SARS」よりもコントロールしにくい傾向にあります。このため、新型コロナウイルス感染問題による影響を受けて、中国の第1四半期の経済成長率は大きな低下圧力にさらされています。

しかし過去のデータによると、通常、自然災害がマクロ経済にもたらす影響は一時的なものであり、経済成長はV字型回復を示す傾向にあります。被災及び市場センチメントにより、通常、経済成長率は短期的に急落するものの、災害が抑制されるにつれて、市場センチメントが安定し、一時的に抑制されていた消費や投資などの需要が喚起されるため、経済のリバウンドにつながります。

> [全文はこちら](#) (日本語)

> [全文はこちら](#) (中国語)

2. インテリジェントオートメーションへのチャレンジと成功の条件

「インテリジェントオートメーション（IA）」および「データと分析（D&A）」は、組織にとって戦略的・戦術的に最も重要なテーマとなっています。テクノロジーは事業運営の効率と効果を高めるだけでなく、広範囲の製品やサービスを新規に開発、あるいは強化するための基盤となります。ただ多くの企業が、何から始めるべきか、まちまちな取組みをどのように調整・統合すべきか（あるいはすべきでないか）、また、これらの技術が自社の業務や労働力に与える影響にどのように対処すべきか、不透明な状況にあります。IAが労働力に与える影響に対する理解と、それに対処するチェンジマネジメント能力、さらに、各種IA技術の可能性を活かすために必要な時間、資金、資源の把握が求められます。

> [全文はこちら](#)（日本語）

3. 顧客ロイヤルティの真実 - 世界の消費者がリピーターになる理由を明かす

本当のロイヤルティとは、共感や感情的なつながりと定義されるため、善意の寄付や特定の人のための体験の提供、思いがけないオファーが、効果をもたらす新しいリワードになる可能性があります。そして、商品と小売ブランドは、ユニークでパーソナライズされた顧客体験を再現しようと、データとテクノロジーに目を向けるようになっていきます。デジタル技術は、脅威として描かれることがよくあります。従来型店舗によってはなおさらです。しかし、デジタル技術は、取引方法に関係なく顧客にアプローチし、消費者と長期的な関係を築くチャンスブランドや小売事業者に与えるものです。約4億人のミレニアル世代（1982年~1999年生まれ）が暮らす中国では、Alibaba、JD.com、WeChatなどが、テクノロジーに精通したミレニアル世代にとっての顧客ロイヤルティを再定義して、自社の顧客を日常生活のなかに溶け込ませています。

> [全文はこちら](#)（日本語）

<ご参考> 新型コロナウイルス対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫”（中国語）[資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights（英語）[資料はこちら](#)
- 事業継続に関するインサイト（日本語）[資料はこちら](#)

Wechatでも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247)（日本語）